

ソリマチ農業簿記操作研修会(決算・確定申告書作成編)を開催(角田市農業青色申告会)

令和3年2月15日、角田市農業青色申告会は、角田地域担い手育成総合支援協議会と共催で農業青色申告会の会員を対象に、農業簿記操作研修会(決算・確定申告書作成編)を公社会議室で開催しました。

ソリマチ株式会社より講師をお招きして、ソリマチ農業簿記11のソフトと確定申告作成ソフトをインストールした後、減価償却費や家事関連費の各種転送の方法、確定申告書作成ソフトへの取込方法など、青色申告決算書と確定申告書の作成及び出力までの研修を行いました。



△研修会の様子



かくだの地酒を楽しむ会では、昨年大好評をいただきました。角田産の酒米「美山錦」を使用し、蔵王酒造で醸造する「ひやおろし」を今年も特別販売いたします。

- 『ひやおろし』とは...
① 冬に仕込んだ新酒を一回のみ火入れする。
② 低温貯蔵で夏の間じっくり熟成させる。
③ 秋風が吹くころに出荷される日本酒です。

寝かせることで角が取れ飲み口が良くまろやかで味わい深いのが特徴です。
脂の乗った秋の秋刀魚や冬の鍋物との相性は最高かも♪

純米大吟醸と特別純米酒2本一セット、秋季限定及び数量限定にて販売いたします。
ご希望の方は、農業振興公社事務局にお問い合わせ下さい。
※20歳以上の方のみの販売とさせていただきます。
※1セット2本(純米大吟醸、特別純米酒各18ℓ)
販売価格 8,800円(税込)

農業振興公社だより

第26回総会(定時)開催される

角田市農業振興公社の第26回総会(定時)が5月31日(月)午後6時30分から角田市市民センター201会議室で開催され、27人の会員が出席(議決権行使書出席含め123人)しました。

開会に当たり、黒須理事長から、今年産の主食用米の作付目安の状況や角田の特産品である「梨」が、4月の低温による凍霜害で大変な打撃を受けたために、大河原振興事務所への要望してきましたこと、さらに県庁へ行って要望してくるなど、報告を含めながら挨拶がありました。

また今年にはコロナ禍という事情を考慮し来賓をご案内しませんでした。角田市議会議長渡邊誠様、宮城県議会議員八島利美様よりメッセージを頂戴しましたので、奉読のうえ紹介いたしました。

その後、北郷地区の白戸康一さんを議長に選出し、「令和2年度事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認について」「公益社団法人角田市農業振興公社費規程の一部改正について」「役員選任について」の4つの議案について審議し、全議案とも満

場一致で承認されました。

「役員選任について」は現役員の任期満了に伴い提案されたもので、理事15名(うち3名新任)と監事2名(うち2名新任)選任されました。

- 退任された役員
理事：佐藤正友氏、笠松郁子氏
監事：高橋俊明氏、泉 隆司氏

※役員は次の方々です。(◎は新任)
理事：黒須 貴氏、舟山健一氏
遠藤裕一氏、日下徳彦氏
◎島津健一氏
◎島津健一氏
渡邊俊博氏、堀米浩一氏
面川義明氏、熊谷繁寿氏
◎小野良恵氏

黒須理事長、
舟山副理事長が再任

定時総会終了後、新たに選任された理事、監事が出席して理事会が開催されました。その結果、理事長に黒須貴氏(角田市長)、副理事長に舟山健一氏(JAみやぎ仙南組合長)が再任されました。

荒川隆顧問「食品産業センター理事長に就任」

令和3年6月7日、本公社顧問である荒川隆氏が、食品産業センター理事長に就任されました。また、荒川顧問は一般社団法人全国酪農協会から「農業・農村政策の光と影」と題して、著書出版・販売しております。是非、ご購入下さい。

○詳細
題名「農業・農村政策の光と影」
B5判 162頁
販売価格 1,650円
※書店での取り扱いはありません。
○申込先
一般社団法人全国酪農協会指導部
TEL 03-3370-7213
FAX 03-3370-3892
左記のコードを読み取って、ご注文下さい。また下記の申込先HPからも購入できます。



お申込先HPのURL : http://www.rakunou.org/publish/publish\_shinpo.html

4月からの公社職員体制です。

- 事務局長 赤坂 誠 (市より派遣)
次長 佐藤 祥文 (JAみやぎ仙南より出向)
主事 毛利 伝一
主事 加藤 厚志
主事 斎 正昭
主事 佐藤 裕美
主事 秋山 英輝 (市より公社担当)



事務所は、角田市役所西庁舎の北西にあります

発行

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊41
電話 (0224) 63-2328
FAX (0224) 61-1522
URL http://www.kakunou.or.jp/

E-mail kakudata@kakunou.or.jp



△総会の様子

特別会員農産物生産者会議開催

角田の農産物を毎年楽しみにしていただいている特別会員の皆様にお届けするための生産者打ち合わせ会議が、5月27日角田市農業振興公社会議室で開催されました。

この会議は、特別会員の皆様に喜んでいただける農産物を生産し、お届けしようと毎年開催している会議で、米、梅干し、味噌、梨の生産者ら8名が出席いたしました。会議では、事務局から昨年度までの申込口数の推移及び申込者からのアンケート結果、農畜産物の品目別



△会議の様子

基準等の説明がなされました。アンケートの内容については、スーパーでこれほど美味しい物は手に入りません、添加物なしで安心して食べられます等、とても満足しましたという意見が多く、また次回も購入したいとの意見をいただきました。今年度は、低温が続く度重なる霜被害により角田産の梨をお届けすることが難しいということで、梨を除く農産物で募集することが決まりました。最後に、特別会員事業にご賛同していただいている会員の皆様に、より満足していただけるよう生産者の皆様と角田市農業振興公社が一体となり対応して参りたいと存じます。今年度も募集案内を発送しておりますのでよろしくお願いたします。

### 角田市農業機械銀行の 通常総会が開催されました

去る4月16日(金)午後6時00分から仙南シンケンファクトリーセミナーホールにおいて角田市農業機械銀行(理事長 菊地勝治/会員数27人)第47回通常総会(解散総会)が行われました。

今回も昨年に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来賓は招待せず、本人出席12名、委任状出席8名、計20名の出席で開会。

はじめに菊地理事長から、「角田市農業機械銀行は昭和50年に発足しました。当時は利用者も多く会員数も現在の2倍近くおりましたが、近年の後継者不足・高齢化等により会員数も減少し、利用者も少なくなっていることから、昨年の第46回通常総会において正式に令和2年度限りで解散をすることが決議され本日の解散総会に至りました。私も長い間、理事長という役職を続けさせて頂きましたが、やはり会員の皆様の協力があつたからだと感じております。本当にありがとうございました。」と挨拶がありました。

続いて、菊地理事長が仮議長になり、議長に北郷地区の白戸康一さんを選出、議事録署名人に角田地区熊谷繁寿さん、阿部弘美さんを、書記に事務局を氏名し議事に入りました。第1号議案(第3号議案まで慎重審議を行い原案通り承認されました。



△通常総会の様子

また、会計通帳残金の一部を地域のために役立てて頂くこと、角田市社会福祉協議会に寄付することに決定しました。(6月2日に寄付済)よって、角田市農業機械銀行はこの第47回通常総会(解散総会)をもって47年の歴史に幕を閉じました。本来ですと、総会終了後に懇親会を盛大に実施するところではありませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行わず出席者に記念品を渡して終了となりました。本当にお疲れ様でした。

### 角田市農業経営者会議 書面議決により決議される

角田市農業経営者会議(森谷茂会長 会員51名)は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、総会に代えて、会員による書面議決を行いました。

6月7日付けで総会議案(議決権行使書)を会員に送付し総会議決があつたものとみなされた日を令和3年6月18日とし、令和2年度事業報告及び収支決算書の承認など5案件

を書面議決した結果、全議案とも承認されました。今年度も農業経営者会議としては開催できる事業を実施しながら安心・安全な農作業に従事していただくよう会員の破傷風予防接種、脳検診への助成、また、先進地視察に対するの助成を行うと共にセミナー、講演会等の関西をおして、個々の農業経営に対する知識、情報等を多くの会員と共有しながら、角田市の農業発展に努めて参ります。

### 角田市経営者会議 研修会が開催される

角田市農業経営者会議では、角田市・角田地域担い手育成総合支援協議会の後援のもと、令和3年3月19日に角田駅コミュニティプラザを会場にファームサイド株式会社代表取締役佐川友彦氏をお招きし、「農家の経営改善・販売手法及び働き方改革」という演目で講演会を開催いたしました。

経営者会議会員及び農業法人並びに若手担い手等29名の参加者が熱心に講演を拝聴し、その後の意見交換においては佐川氏の著書について、農家経営についてなど今後の角田の農業経営についての質問が時間を超えて活発に行われ好評を得、後日、佐川氏の著書を全会員に今後の農家経営の参考にしていただきたく提供いたしました。今後ともより有意義な研修会、講



△研修会の様子

### 地酒用いも消費拡大推進協議会 総会および美酒を育てる会 書面議決により決議される

地酒用地場産米消費拡大推進協議会(おらほの美酒を育てる会)会員36名は、新型コロナウイルス感染症リバウンド防止の徹底を図るため、総会に代えて、会員による書面議決を行いました。6月1日付けで総会議案議決権行使書を会員に送付し、総会議決があつたものとみなされた日を令和3年6月11日とし、令和2年度事業報告及び収支決算書についてなど2案件を書面議決した結果、全議案とも承認されました。本年度も、新型コロナウイルス感染症の状況次第では、事業運営に大きな影響が懸念されますが、引き続き、会員制による『牟宇姫』と『かくだひやおろし』の二大ブランドの販売や会員の集い等の開催を予定しておりますので、みなさま、楽しみにお待ちしております。

## あぶくま農学校農業体験学習「春」各団体で田植え

例年、あぶくま農学校では農業体験学習として、東京都目黒区の小学校と合同で田植え体験を行っており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度は手植え体験を行わず、機械での田植えを実施しておりました。今年度についても、目黒区の小学校との交流体験は叶いませんでしたが、枝野地区と西根地区では、地元の小学生在が田植え体験を行いました。また、北郷地区では、秋の収穫体験を期待して、機械での田植えを行いました。

### 緑ヶ丘小・北郷小学習田

北郷小学校では、毎年5年生が行っていた田植え体験は中止し、5月13日に北郷小学校学習田30アールに、田の所有者の森谷茂さんが田植え機により「つや姫」の植え付けを実施しました。



田植えの様子

### 下目黒小・枝野小学習田

枝野小学校では、今年3年生以上児童43名で手植えによる田植え作業を体験しました。5月8日、「あぶくま農学校入校式」が行われ、校長である黒須角田市長の挨拶をいただいた後、農協青年部、枝野支部の皆さんが中心となり、子ども会育成会の皆さんの協力のもと「つや姫」の田植えを行いました。田植え風景をドローンで上空から撮影し、映像を下目黒小学校に送り、秋の稲刈りには一緒に体験ができるように期待しながらの田植えでした。



田植え体験の様子

### 月光原小・西根小学習田

西根小学校では、来年度からの統合を控え、西根小学校単独としては最後となる田植え体験を、5月15日に全校生徒49名が密を避けるため二班に分かれて行いました。西根地区子ども会育成会の皆さんの指導により、約7アールの田んぼに「みやこがねもち」というもち米の田植えを行いました。



田植え体験の様子

### 目黒角田絆交流実行委員会

目黒角田絆交流事業「春」の田植えについて、今年度も中止となりましたが、5月12日約30アールの交流田に「ひよこめぼれ」を、田の所有者である森谷茂さんが田植え機による田植えを行いました。



田植えの様子

### 〇各学習田での生育状況 (6月30日現在)

目黒角田絆交流事業 学習田 平均草丈 54.5 cm	月光原小・西根小 学習田 平均草丈 58.3 cm	下目黒小・枝野小 学習田 平均草丈 56.3 cm	緑ヶ丘小・北郷小 学習田 平均草丈 58.5 cm